

# 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[表記法](#)

[ステップバイステップ手順](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Guard または Cisco Traffic Anomaly Detector Distributed Denial of Service ( DDoS ) の緩和アプライアンスで root ユーザのパスワードを回復する手順について説明します。このパスワードは、Cisco Guard または Cisco Traffic Anomaly Detector システムへのルート アクセスを制御するために使用されます。ルート パスワードは暗号化されており、次の手順を使用して、新しいパスワードでのみ置き換えることができます。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## ステップバイステップ手順

次の手順を実行します。

1. Cisco ガードまたは Cisco トラフィック異常探知器にキーボードおよびモニタを接続して下さい ( このプロシージャはシリアルかネットワーク接続によって実行されたことができません。 )
2. **再度ブートする**をログインし、入力して下さい。
3. ボックスが作動している間、Shiftキーを押しておいて下さい。これは Lilo 「ブートを得ます:」プロンプト。
4. 利用可能なイメージが表示されるために **TAB** を押して下さい。注より古いイメージに「**Riverhead**」があるが、3.0.8 に「**Cisco**」イメージがあります。
5. シングル ユーザにイメージをロードされる表示するために **Cisco 1** を入力して下さい ( またはより古いシステムの **Riverhead 1** )。これはシングル ユーザー モードでシステムを起動します。
6. ブートプロセスの間にパスワードを頼まれます。固定パスワード **dud&ndud** を入力して下さい。これは**ルート シェル**を与えます。

7. この場合ルートのパスワードを変更するためにパスワード コマンドを実行できます。、選択したパスワードを確認するように頼まれますたとえば:
8. パスワードを変更した後、システムを再始動する `reboot` コマンドを実行して下さい。システムが通常の動作モードを開始するようにブートプロセスを割り込まないで下さい。

## 関連情報

- [Cisco Guard DDoS 軽減対策アプライアンス](#)
- [Cisco Traffic Anomaly Detector](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)